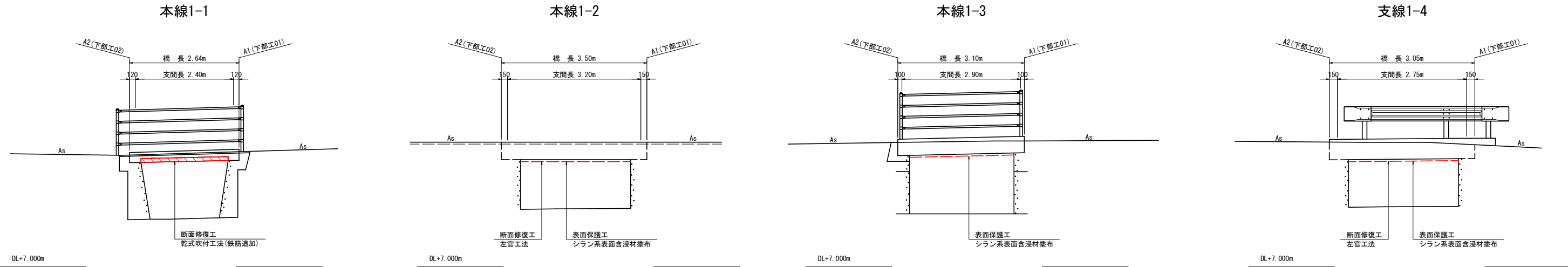
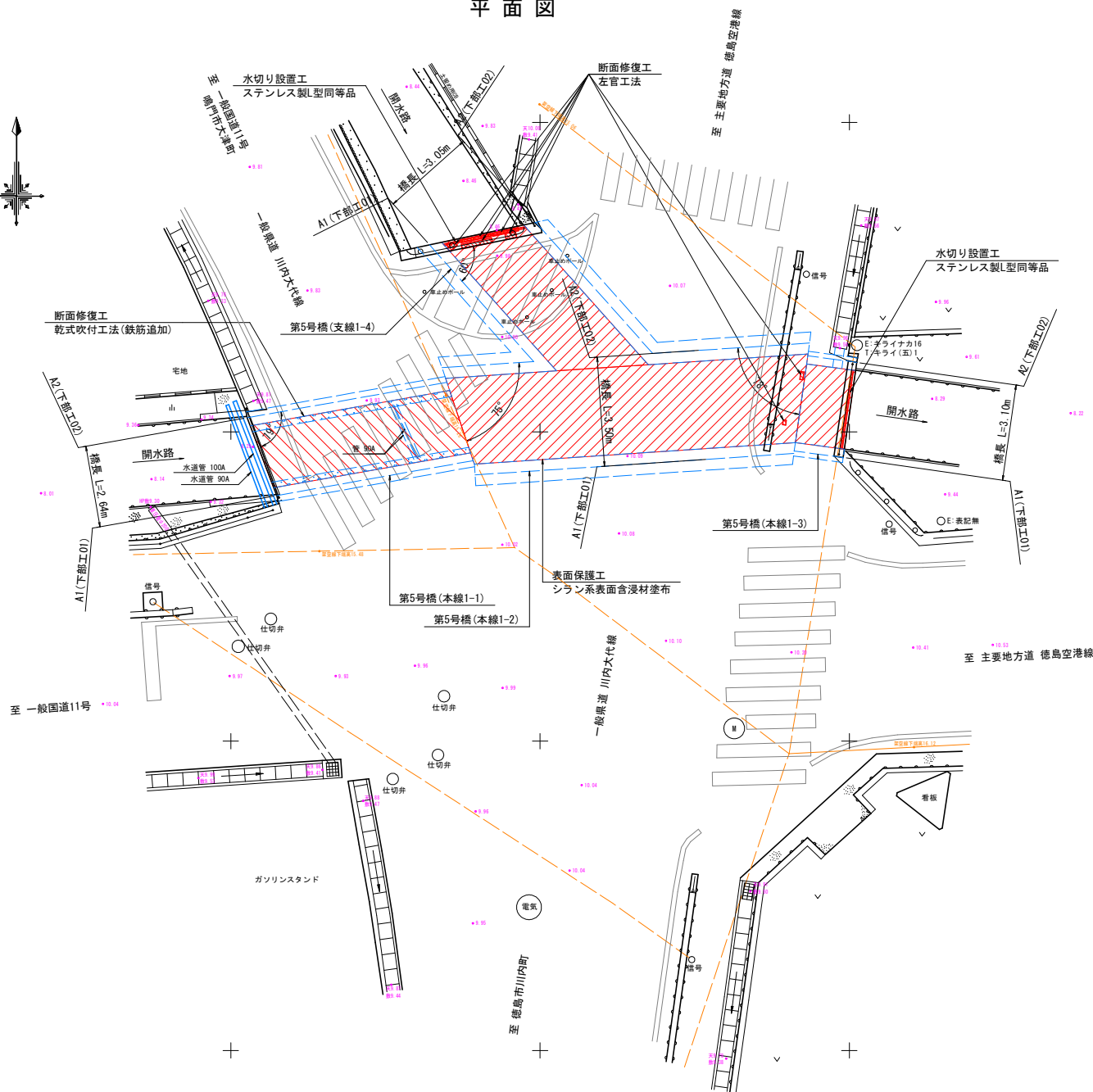


橋 梁 補 修 計 画 一 般 図 S=1:100

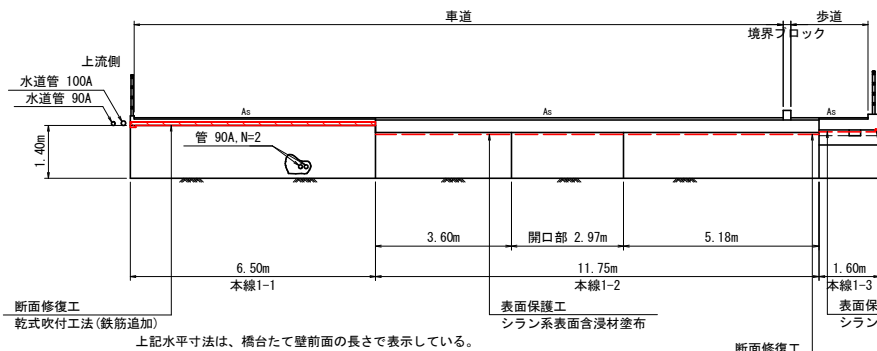
第5号橋
側 面 図 S=1:50



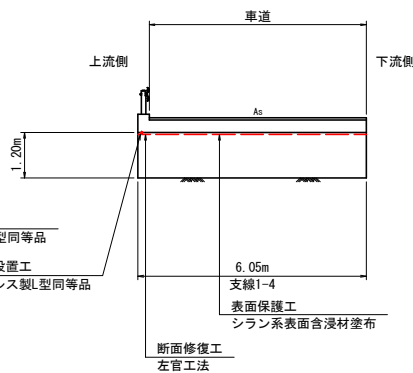
平 面 図



断 面 図
本線A2橋台



断 面 図
支線A2橋台



補修工法一覧

補 修 工 法 一 覧			
部位・部材	劣化状況	補修工法	備 考
本線1-1 床版	うき、鉄筋露出	断面修復工	乾式吹付工法(鉄筋追加)
	鉄筋露出	断面修復工	左官工法
本線1-2 床版	劣化因子の遮断	表面保護工(表面含浸工)	シラン系表面含浸材塗布
	劣化因子の遮断	表面保護工(表面含浸工)	シラン系表面含浸材塗布
本線1-3 床版	伝い水	水切り設置工	ステンレス製L型
	鉄筋露出	断面修復工	左官工法
支線1-4 床版	劣化因子の遮断	表面保護工(表面含浸工)	シラン系表面含浸材塗布
	伝い水	水切り設置工	ステンレス製L型

現 橋 諸 元

路 線 名	一般県道 川内大代線			
橋 名	第5号橋			
架 設 年 度	不明			
自 動 車 荷 重	不明			
上 部 工	径 間 名 称	本線1-1	本線1-2	本線1-3
	形 式	RC床版橋	RC床版橋	RC床版橋
	橋 長	2.64m	3.50m	3.10m
	支 間	2.40m	3.20m	2.90m
	有 効 幅 員	6.50m	10.40~11.75m	1.30m
下 部 工	斜 角	$\theta=79^\circ$	$\theta=75^\circ, 78^\circ$	$\theta=90^\circ$
	舗 装	車道: アスファルト舗装, 歩道: アスファルト舗装		
	軀 体 形 式	重力式橋台	逆T式橋台	重力式橋台
	材 料	コンクリート	コンクリート	コンクリート
	適 用 基 準	不明		

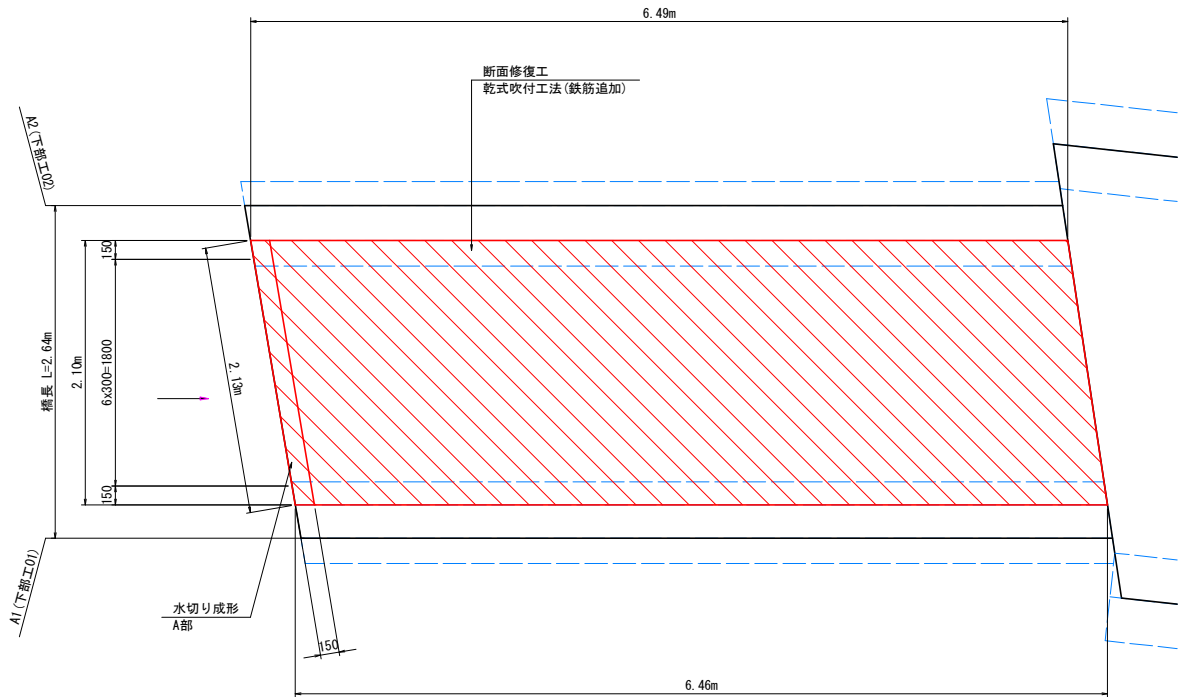
・道路中心線が2方向に分かれているため、橋長は橋台直角方向、幅員は橋台方向で表示している。

実施設計図面

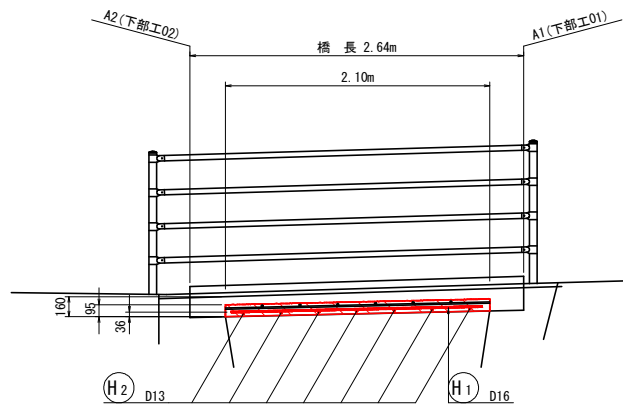
工 事 名	R7徳土 川内大代線 (第5号橋) 松・中喜来 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来 (第5号橋)		
図 面 名	橋梁補修計画一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 5
会 社 名			
事業者名	県土整備部 東部県土整備局 (徳島庁舎)		

上部構造補修詳細図 (1/4) S=1:30
上部構造(床版下面)乾式吹付工

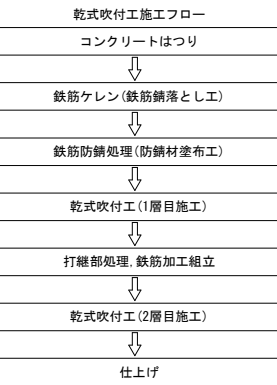
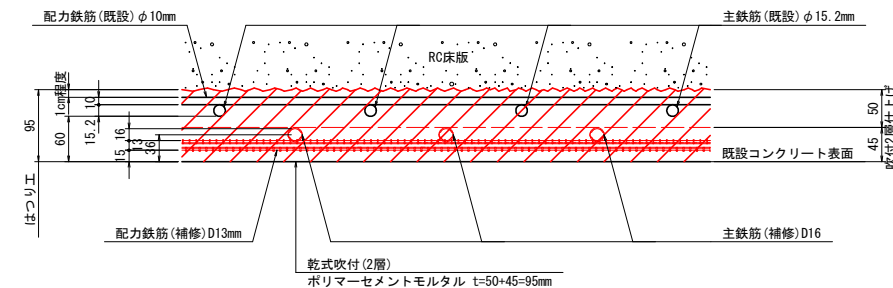
構造図
床版下面図



断面図

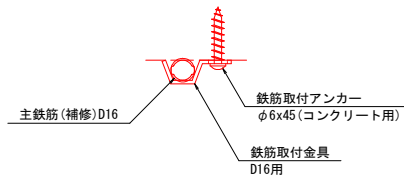


断面修復工詳細図 S=1:5

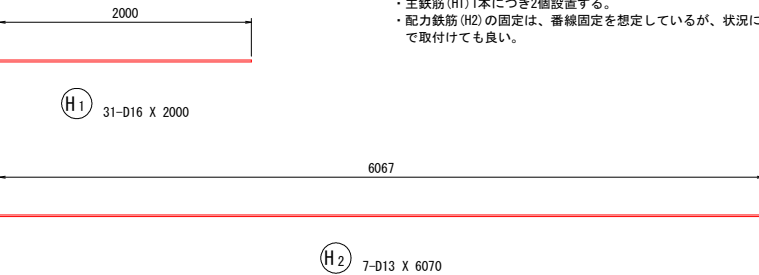


注記)
・鉄筋設置条件は以下を基本とする。
主鉄筋 : D16とし既設主鉄筋の間隔に鉄筋間隔200mmで配筋する。
配力鉄筋: D13とし鉄筋間隔300mmで配筋し、新設鉄筋(D16)の外側に配筋する。
・はつり深さは、補修深さを基準として施工を実施する。ただし、既設配力鉄筋のかぶりがない箇所等は、鉄筋裏1cm程度までとし、一律h=95mmとしなくて良い。(既設床版が薄いための対策)
・全面通行止め下での施工を想定している。

鉄筋取付参考図 S=1:3



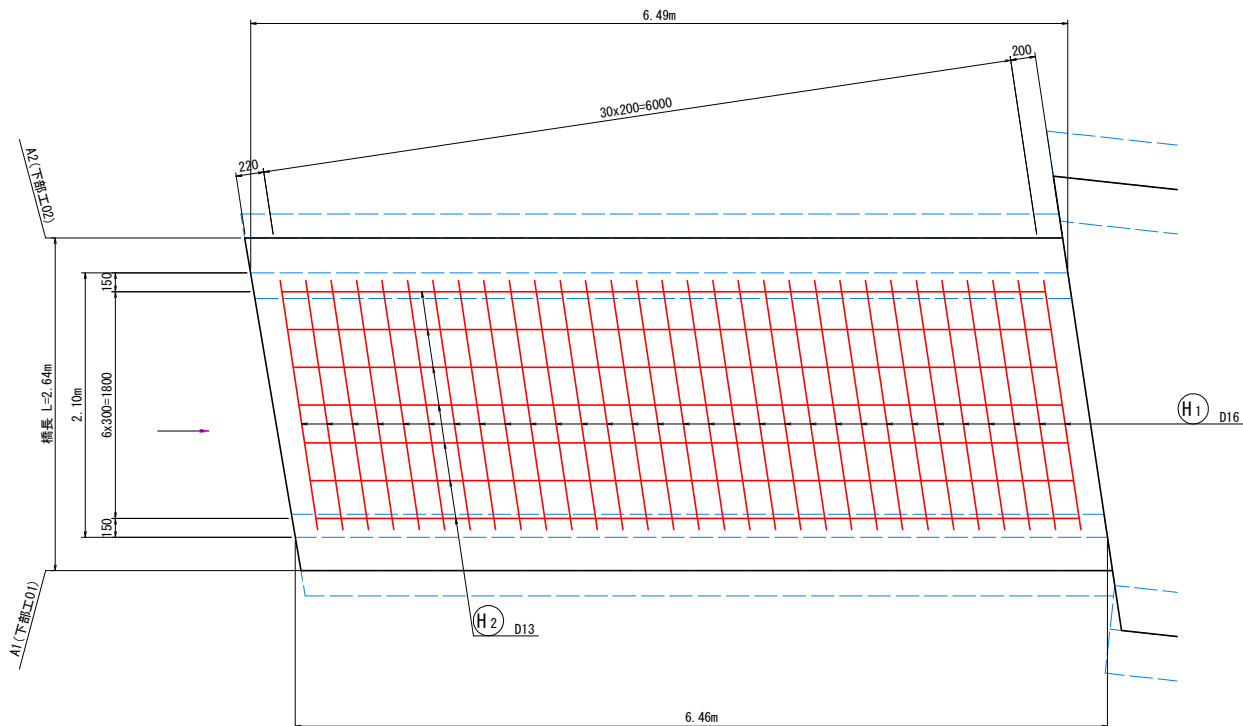
鉄筋加工図



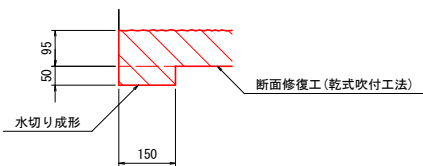
鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	床版1基当り数量	
						質量	摘要
H1	D16	2000	31	1.56	3.12	97	
H2	D13	6070	7	0.995	6.04	42	
合 計						97 kg	
						42 kg	
総質量						139 kg	SD345

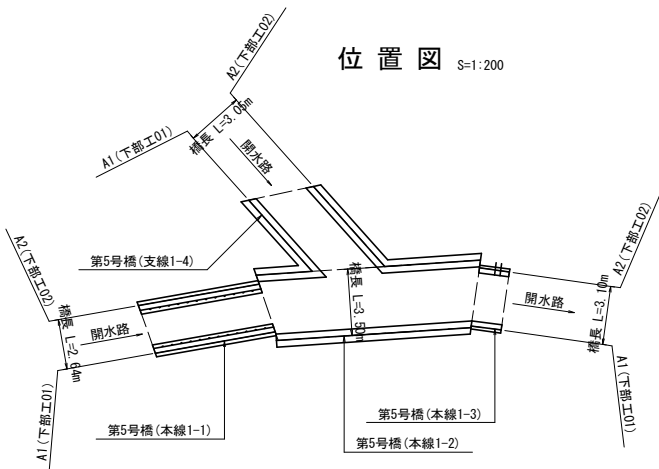
配筋図
床版下面図



A部詳細図 S=1:10



位置図 S=1:200

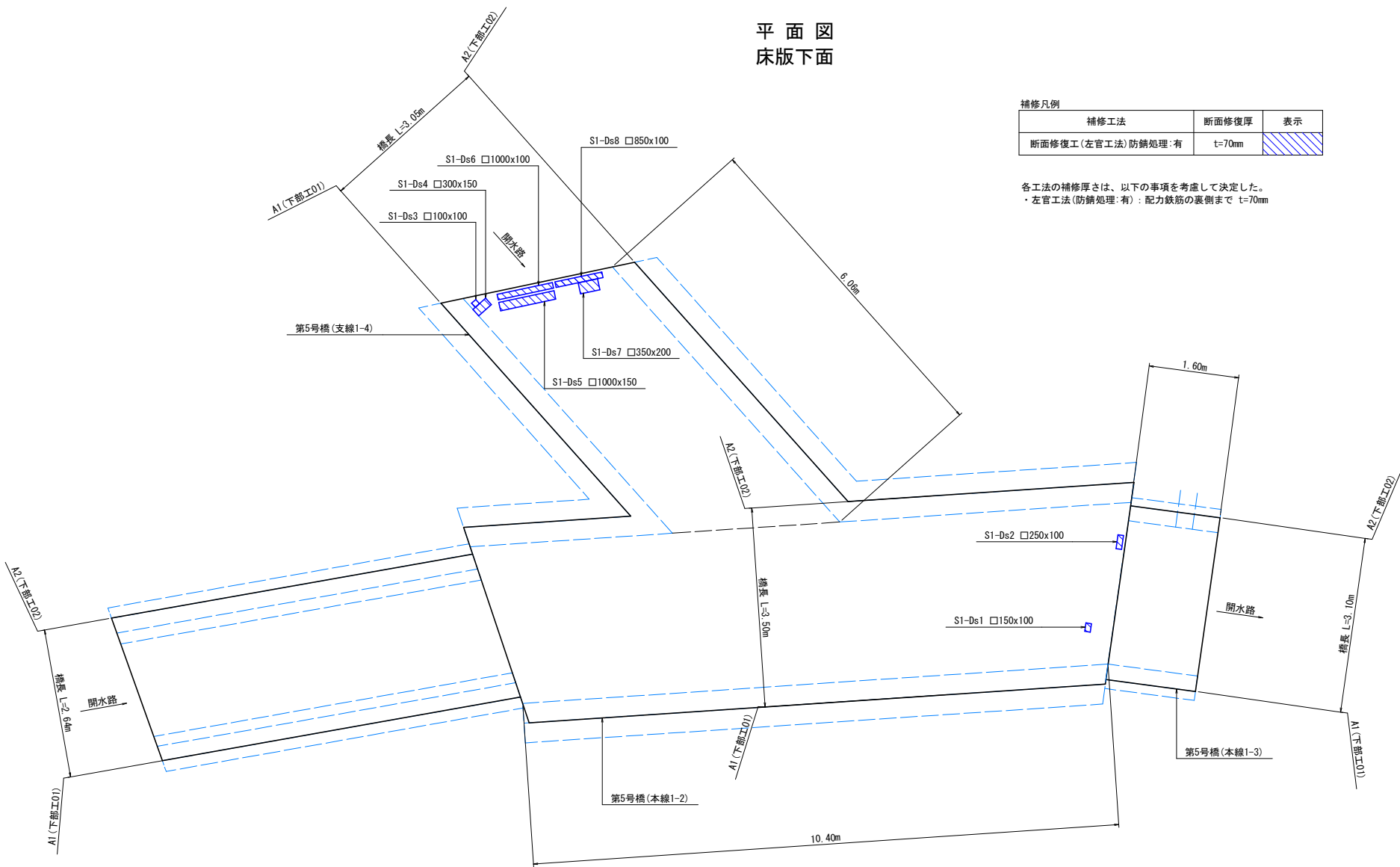


実施設計図面

工事名	R7徳土 川内大代線(第5号橋)		
路線名等	松・中喜来 橋梁修繕工事		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来(第5号橋)		
図面名	上部構造補修詳細図(1/4)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)		

上部構造補修詳細図 (2/4) S=1:50
上部構造(床版下面)断面修復工

平面図
床版下面



補修凡例

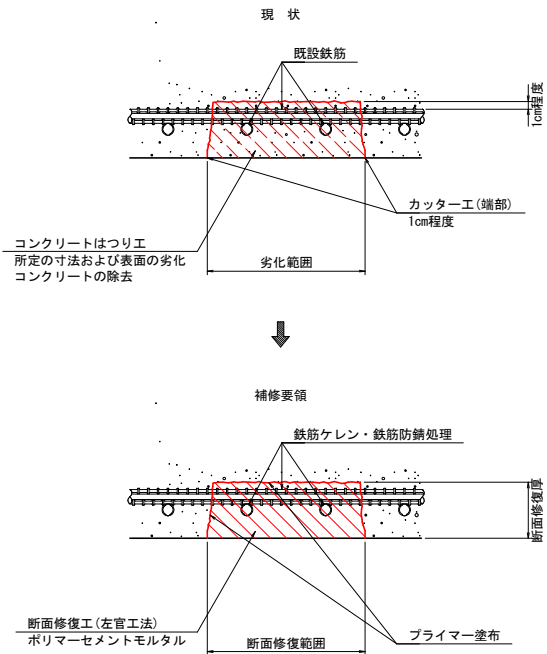
補修工法	断面修復厚	表示
断面修復工(左官工法)防錆処理:有	t=70mm	

各工法の補修厚さは、以下の事項を考慮して決定した。
・左官工法(防錆処理:有):配力鉄筋の裏側まで t=70mm

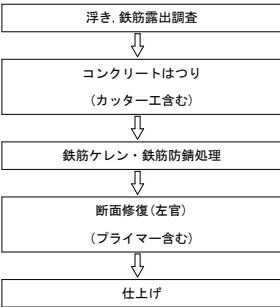
補修工法詳細図 S=NTS

断面修復工(左官工法)

既設コンクリート断面欠損部



断面修復工施工フロー



注記

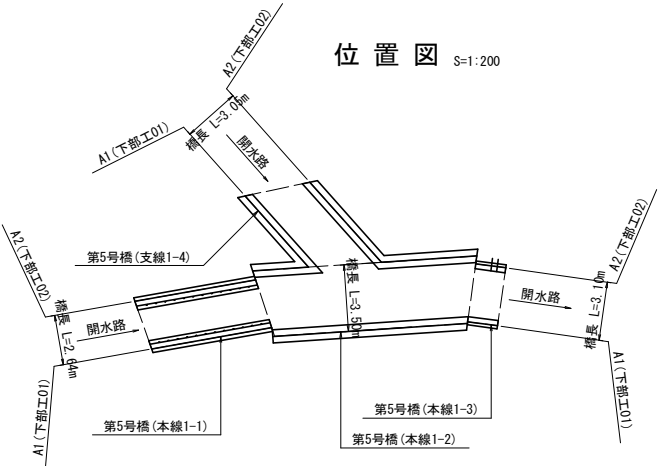
- ・断面修復工端部にはカッター切りを行い、フェザーエッジとならない様にする。
- ・プライマー塗布前には、塵埃の除去を行うこと。
- ・鉄筋が腐食している場合は鉄筋の裏側まではつりケレンすること。
- ・断面修復材は、ポリマーセメントモルタルとし、空隙を作らないように施工すること。

橋梁名	部材番号	記号	幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理: 有								
本線1-2	床版01	S1-Ds1	0.150	0.100	0.070	0.001	m3	
		S1-Ds2	0.250	0.100	0.070	0.002	m3	
	小計					0.003	m3	
支線1-4	床版01	S1-Ds3	0.100	0.100	0.070	0.001	m3	
		S1-Ds4	0.300	0.150	0.070	0.003	m3	
		S1-Ds5	1.000	0.150	0.070	0.011	m3	
		S1-Ds6	1.000	0.100	0.070	0.007	m3	
		S1-Ds7	0.350	0.200	0.070	0.005	m3	
		S1-Ds8	0.850	0.100	0.070	0.006	m3	
	小計					0.033	m3	
	合計					0.036	m3	

断面修復工集計表(鉄筋露出・うき箇所(防錆処理有))

V = 0.036 m ³ (設計数量)

位置図 S=1:200

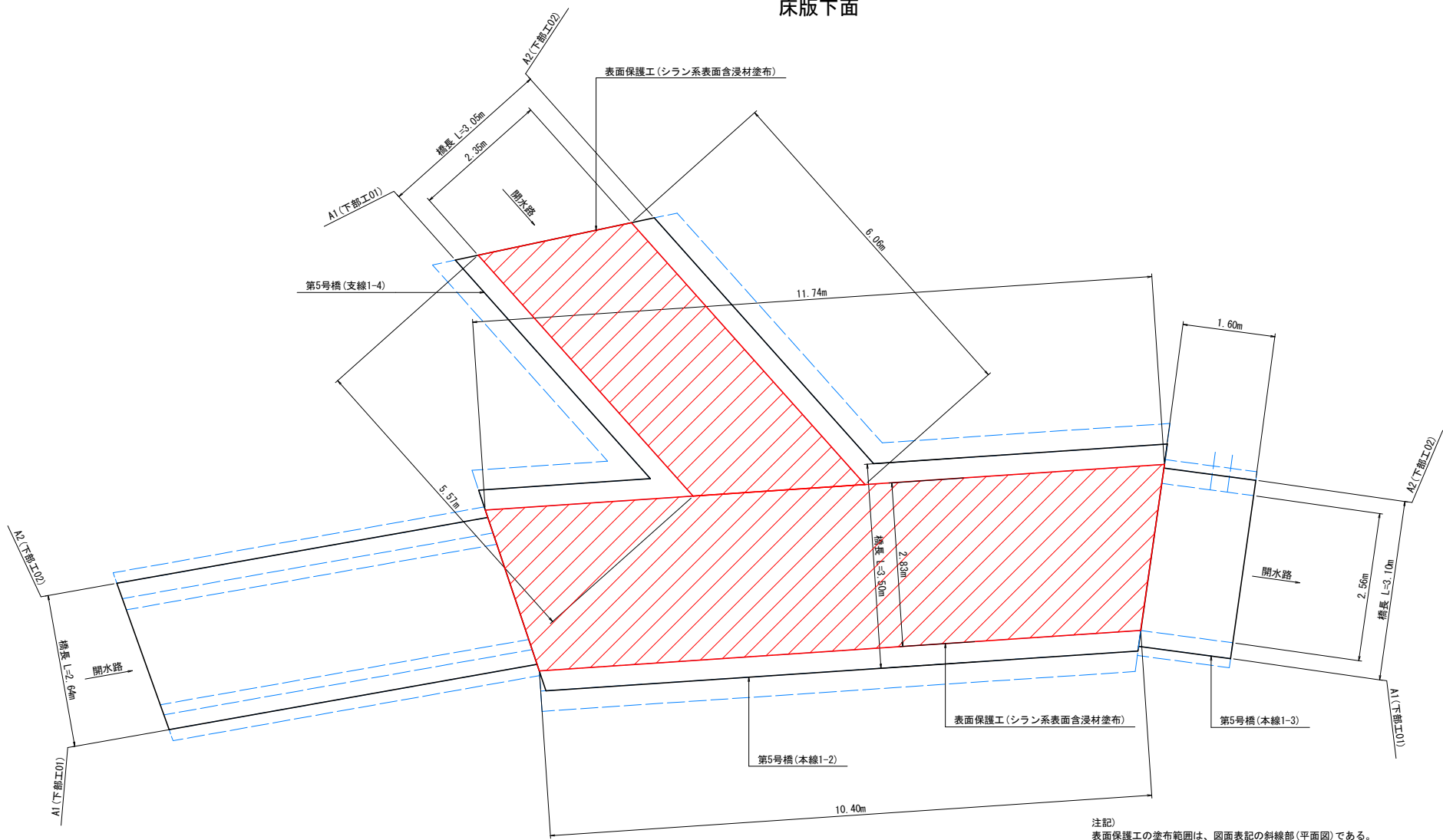


実施設計図面

工 事 名	R 7 徳土 川内大代線 (第5号橋)
路線名等	松・中喜来 橋梁修繕工事
工事箇所	板野郡松茂町中喜来 (第5号橋)
図 面 名	上部構造補修詳細図 (2/4)
縮 尺	図 示 図面番号 3 / 5
会 社 名	
事業者名	県土整備部 東部県土整備局 (徳島庁舎)

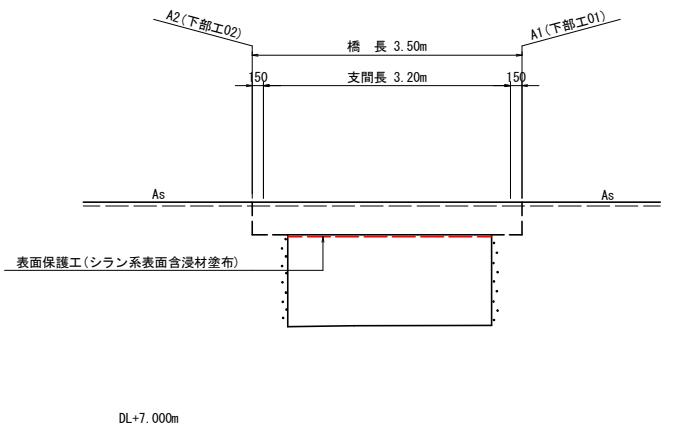
上部構造補修詳細図 (3/4) S=1:50
上部構造(床版下面)表面保護工

平面図
床版下面

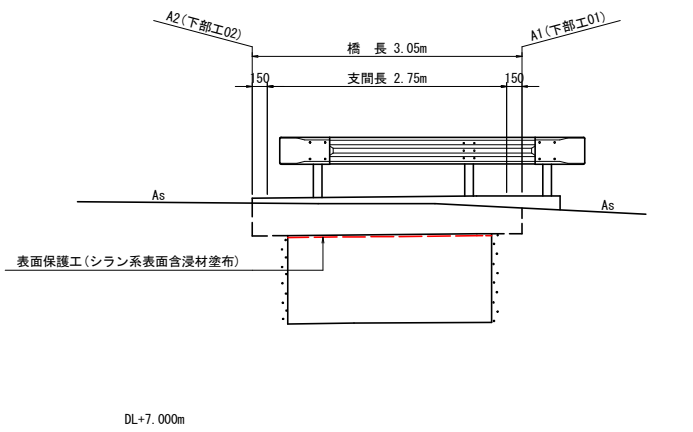


注記)
表面保護工の塗布範囲は、図面表記の斜線部(平面図)である。

側面図
本線1-2 S=1:50



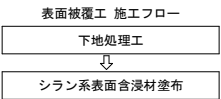
支線1-4



注記)
表面保護工の塗布範囲は、図面表記の破線(断面図)である。

表面保護工 概念図

- ① 下地処理工
(サンダーケレン、ワイヤーブラシ等)
- ② シラン系表面含浸材塗布
(アクアシール1400(同等品)
標準塗布量=0.3~0.5kg/m²x1回、刷毛・ローラー)

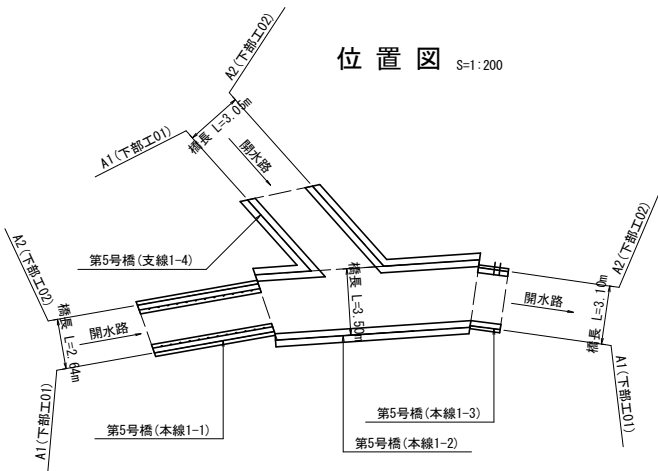


注記)
使用材料については、上記の案の他、中性化劣化に有効な含浸材を使用すること。
また、土木研究センターの規定・試験等の適合品を使用すること。
表記の同等品は1例であり製品を指定するものではない。

表面保護工数量

補修箇所	面積(m ²)
本線1-2	31.33
支線1-4	13.67
合計	45.00

位置図 S=1:200



実施設計図面

工事名	R7徳土 川内大代線 (第5号橋)
路線名等	松・中喜来 橋梁修繕工事
工事箇所	板野郡松茂町中喜来 (第5号橋)
図面名	上部構造補修詳細図 (3/4)
縮尺	図示
図面番号	4 / 5
会社名	
事業者名	県土整備部 東部県土整備局 (徳島庁舎)

S=1 : 50

工 事 名	R7徳土 川内大代線（第5号橋） 松・中喜来 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来（第5号橋）		
図 面 名	上部構造修繕詳細図（4/4）		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5
会 社 名			
事業者名	県土整備部 東部県土整備局（徳島庁舎）		